

4 山田頭義書簡(長三洲宛)

培以御清寧可為在欣賀、

扨者来ル廿三日音羽弊莊へ

三條公始文人達相招申候間、

御閑暇ニ被為入候ハ、午後三

時比御来臨被下度候

為右

勿々

拝具

六月廿九日

(奥封ウハ書)

「三洲様 空齋」

(封筒表)

「長三洲様 山田頭義

与御答」